



千葉大学 (千葉県)



日本の学生とともに日本の多様性を学び、グローバルな視点を養います。

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 1949年に発足した総合大学で、規模、内容とも国立大学法人の上位にあります。国際教養学部、文学部、法政経学部、教育学部、工学部、園芸学部、理学部、医学部、薬学部、看護学部があります。また、大学院として人文公共学府、専門法務研究科、教育学研究科、融合理工学府、園芸学研究科、医学薬学府、看護学研究科、理学研究院、工学研究院、医学研究院、薬学研究院が置かれています。

- ・学部学生定員：9,827名
- ・大学院学生定員：3,008名
- ・教授、准教授、講師、助教、助手：1,275名

2) 日本社会のグローバル化を牽引する「スーパーグローバル大学」として、文部科学省の重点支援を受けています。留学生の受入れや派遣を積極的に行っており、2019年5月現在、1013名の留学生が学んでいます。留学生の日本での生活をサポートするインターナショナル・サポートデスクも設置されています。

<http://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/>

3) 幅広い視野、批判的思考力、豊かな人間性を養うことを目指して行われる教養教育が充実しており、アクティブラーニング、協働学習を取り入れた授業が多数開講されています。

② 国際交流の実績

千葉大学は40カ国248大学と大学間交流協定を結び、活発に交流を行っています。2019年5月現在、協定校からの留学生が100名以上在籍しています。

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2019年：留学生数1013人、日研生 8人
2018年：留学生数 964人、日研生 9人
2017年：留学生数 830人、日研生 8人

④ 地域の特色

日本語・日本文化研修留学生が学ぶ西千葉キャンパス（千葉市）は、東京から電車で約1時間、成田国際空港から車で約45分のところにあります。人口約97万人の千葉市は、気候が温暖で物価も比較的安く、生活しやすいところです。また、千葉県は水と緑の豊かな自然に恵まれています。地域の環境については千葉県のホームページも参照してください。<http://www.pref.chiba.lg.jp/>

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

(a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

1) 教育方針・特徴

日本語・日本文化を専攻し、将来にわたって日本研究を続ける意思のある留学生のためのプログラムです。日本の学生と協働して日本の文化・社会の多様性を学ぶことができ、グローバルな視点からクリティカルに日本を捉えられるようになります。また、チューター制度や語学交換プログラムなどを通して、日本人学生と交流を深めることも勧めています。

2) 研修内容

日本の文化・社会に関する授業の受講に加え、日本について興味のあるテーマで調査研究を行います。アカデミックな日本語能力を養いながら日本に関する専門的な知識を習得し、研究能力を高めていきます。

日本語学習については、各自の日本語レベルに応じた日本語コースに参加し、四技能（読む・書く・聞く・話す）を総合的に伸ばすことができます。

③ 受入定員

10名（大使館推薦 6名、大学推薦 4名）

④ 受講希望者の資格、条件等

1) 資格

大学において2年以上の日本語教育を受けており、応募時および渡日時に日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学していること。

2) 条件

- 日本語能力試験N2合格程度以上の日本語力があり、以下のような運用能力を有することが条件です。
- ・自分が興味のある一般的な話題で会話を続けることができる。
- ・日本語で行われる留学生向けの基礎的な講義や演習を理解することができる。
- ・漢字1000字以上を習得し、一般的な日本語の文章を辞書を使いながら読むことができる。
- ・一般的な話題ならば辞書を使わずに1000字程度の説明文、意見文を書くことができる。

日本に関係する特定の分野について研究上の関心を持ち、帰国後も研究を継続する意思のある学生、また、日本に留学した経験のない学生を積極的に受入れます。

⑤ 達成目標

日本の文化、社会の多様性を理解し、それらをグローバルな観点から捉えられるようになること、基礎的な学術日本語の運用力を習得して、日本語を使って研究が進められるようになることが目標です。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間 2020年9月～2021年8月
在籍期間 2020年10月1日～2021年8月31日
修了式は8月上旬を予定。

・秋学期：2020年10月1日～2021年2月上旬
・春学期：2021年4月上旬～2021年8月上旬
※学年暦は4月から始まります。千葉大学はターム制を取っているため、最初の学期（秋学期）は第4ターム＋第5ターム、2番目の学期（春学期）は第1ターム＋第2タームとなります。各タームは8週間です。

⑦ 奨学金支給期間

2020年10月～2021年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬 渡日（2019年度は9/19）、
オリエンテーション
10月 ウェルカム・パーティー
11月～1月 日本文化紹介プログラム：
浴衣を着る、折り紙
11月 ホーム・ビジット
12月 見学旅行：房総のむら・成田山新勝寺
6月 歌舞伎鑑賞教室
8月上旬 修了式・帰国

※このほかにも、大学主催の「ユニバーサル・フェスティバル」（留学生による文化紹介の催し）や、小学校などで行われる国際交流活動に参加して自分の言語や文化を紹介する機会があります。

※サークル活動や大学内で行われる留学生のための行事にも参加することもできます。



（成田山新勝寺）

⑨ コースの修了要件

必修科目2科目（4単位、60時間）および「研修・コース科目の概要・特色」に掲げた選択科目を中心に18単位以上履修し、修了レポートを提出して合格と認められた者に修了証書を授与します。学習時間は概ね435時間以上になります。受講科目を登録し、一定の成績を修めた科目については、単位修得証明書を発行します。参加者への修了証書の送付は、2021年10月中旬になります。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

・必修科目「特別研究（文系）A・B」は、9カ月かけて修了レポートを作成する密度の濃い授業です。専門の異なる5名の教員がゼミ形式で指導します。7月には公開発表会を開催し、その成果はレポート集として刊行しています。

これまでの修了レポートのテーマの例

- ・現代日本語の謝罪表現の使い分けについて
- ・若者と無宗教：「宗教」＝未知の感性？
- ・現代のメディアにおける織田信長のイメージ
- ・日本とヨーロッパの遊女の日常生活の比較
- ・日本のホームレス問題の状況や支援対策について

・千葉大学では「国際日本学」という副専攻があり、日研究生は日本の学生とともに日本について学ぶ機会が豊富にあります。

2) 必須科目

特別研究（文系）A・B [30・30]：日本に関するテーマを自分で選び、6000字以上の修了レポートを作成する。
※〔 〕内の数字は、授業時間数です。以下同じ。

3) 選択科目

以下の(1)日本語科目、(2)日本を学ぶ科目（人文科学系・社会科学系）を中心に、各自の日本語能力や興味・関心に合わせて履修科目を選択します。(2)の科目はすべて日本人学生との合同授業です。

(1) 日本語科目

プレースメントテストを受けて、中級以上の4つのレベルのいずれかに入り、各学期3科目以上受講します。通常、2学期目には一つ上のレベルに進みます。

日本語 500 中級	総合 [60] ・口頭表現1 [30] ・口頭表現2 [30] ・文法 [30] ・文章表現 [30] ・漢字 [30]
日本語 600 中級後半	読解1 [30] ・読解2 [30] ・口頭表現1 [30] ・口頭表現2 [30] ・文章表現 [30] ・文法 [30] ・漢字 [30]
日本語 700 上級前半	読解 [30] ・口頭表現1 [30] ・口頭表現2 [30] ・文法詳解2 [30] 読解 [30] ・聴解 [30] ・文法詳解 [30] ・レポートの書き方 [30] ・口頭表現 [30]
日本語 800 上級	口頭表現1 [30] ・口頭表現 [30] ・レポートの書き方 [30] ・発表資料作成 [30] ・文法詳解 [30] 読解 [30] ・口頭表現 [30] ・レポートの書き方1 [30] ・レポートの書き方2 [30]

※日本語500、600は各学期同じクラスが開講されます。日本語700、800は上段が1学期目、下段が2学期目のクラスです。<https://jlcr.chiba-u.jp/top.php>参照。

(2) 日本を学ぶ科目（人文科学系・社会科学系）

日本人の精神・伝統文化A・B [16]：日本の文化・社会・宗教等に関する講義とディスカッションを行う。

日本イメージの交錯A・B [各16]：日本をめぐるイメージについて様々な素材・角度から議論する。

日本アジア文化交流史A・B [各16]：日本とアジア諸地域との文化交流を歴史的に振り返る。

日本語の特徴 [16]：文法を中心とする日本語の特徴を、留学生の母語との比較のなかで確認していく。

日本語の諸相 [16]：日本語を、空間的な広がり、時間的な奥行きなどから多角的に考察する。

時事から日本を考えるA・B [各16]：新聞や週刊誌の記事に関する講義とディスカッションを行う。

4) 見学、地域交流等の参加型科目
特別研究(文系) C・D [30・30] : 国立歴史民俗博物館との共同授業。各自の母国から同博物館を訪問する人に向けて展示案内(ワークシート)を企画し母語で作成する。

持続的・地域貢献活動実習 I・II [30・30]
学部学生と共に地域(房総半島の農山漁村)の諸課題を発見し、現地に出向き活動をしながら地域経済・社会活動を向上させていく方法を考える。

5) 日本人学生との共修の機会

以下の国際教養学部専門科目は、日本語・日本文化研修留学生を積極的に受け入れています。

日本の食文化 [16] : 戦後登場した食材あるいは料理を題材に、日本社会と食文化の関わりを概説する。

現代言語社会論 [16] : 現代の言語と社会をとりまく諸現象について、社会言語学の観点から理解を深める。

多文化接触論 [16] : 文化や言語の背景が異なる人々が接触する場面における諸現象と参加する人々の管理や調整の試みを紹介する。

多文化共生教育論 [16] : 日本社会の多文化化の経緯、現状を把握し、少数派と多数派が共生する上での課題について教育という視点から考える。

日本語科目以外は、以下の千葉大学シラバス検索システムで詳しい情報を見ることができます。

<http://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/syllabus/>

また、上記以外の千葉大学で開講されている一般学生向けの授業も、担当教員の許可が得られれば受講することができます。

⑪ 指導体制

国際教養学部に所属する以下の教員がガイダンスや個別指導を通して学業面、生活面のサポートを行います。

吉野 文 (専門: 日本語教育学、応用言語学)

西住 奏子 (専門: 日本語教育、語用論)

研究テーマがあり、専門指導を受けたい場合には、その分野の教員を紹介するなど、できる限り配慮します。

■ 宿 舎

千葉大学国際交流会館(単身用)に優先的に入居できます。過去3年間日研究生は全員が入居しています。寄宿料・共益費(インターネット接続料金込)は月額19,000円(光熱水料等は除く)です。このほかに、入館費として15,000円必要です。10月末までに10月分の寄宿料・共益費・入館費34,000円を現金で支払い、11月以降は毎月19,000円が銀行口座から引き落とされます。

国際交流会館のある稲毛から西千葉キャンパスまでは電車(1駅)です。徒歩または自転車で通学できます。

■ 修了生へのフォローアップ

・日本語・日本文化研修留学生プログラムの修了者に対しては、個別に進路相談などの対応をしています。修了生の中には国の大学を卒業後、千葉大学をはじめとする日本の大学院に進学する人が少なくありません。

・大学・大学院卒業後は、日本で就職している人、大学で日本語、日本文学の研究者となっている人、国の日系企業で翻訳・通訳に従事している人など、何らかの形で日本と関わりを持っている人がほとんどです。



(インターナショナル・サポート・デスク)

■ 問合せ先

<担当部署>

千葉大学学務部留学生課

住所: 〒263-8522

千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL: +81-43-290-2193 (直通)

FAX: +81-43-290-2198

Email: mext-scholarship@chiba-u.jp

<ウェブサイト>

千葉大学ホームページ

<http://www.chiba-u.ac.jp/>

<http://www.chiba-u.ac.jp/e/index.html>

千葉大学国際教育センターホームページ

<http://cie.chiba-u.ac.jp/>

<http://cie.chiba-u.ac.jp/index-e.html>

<コース内容に関する照会先>

吉野 文 国際教養学部教授

Email: ayoshino@faculty.chiba-u.jp